



# 鈴鹿市ボランティア活動 支援サイト

「すずかていあ☆」

加藤ゼミ 鈴鹿市B班

# 目次

現状の課題

政策目標

政策内容

ボランティア活動ポータルサイト(すずかていあ★)について

概要

必要性

先行事例

広報政策について

まとめ

# 現状の課題

「鈴鹿いきいきボランティア制度」の対象年齢が65歳以上

ボランティアポイントの確認方法・評価方法が紙媒体  
市職員の業務効率悪化を招いている

ボランティア活動の経験がある人はどの年代も20%前後  
特に若年層の割合が低い

# 政策目標

## 地域コミュニティが持続的に発展している社会の構築

- 鈴鹿市において住民自治の発展
- 幅広い年代の市民の積極的なボランティア活動の参加

## 市として積極的なボランティア活動の支援を行いたいと思える体制の構築

- 市職員の過度な業務負担を可能な限り軽減

# 政策内容

## ポータルサイト (すずかていあ★)の整備

- 企画立上げ
- 準備の支援
- 広報
- 評価

## 住民の自主的な参加を促す 政策

# 概要

住民主体でボランティア活動を実施する際の

企画の立ち上げ

ボランティア人材の募集・広報

市内公共施設の貸与

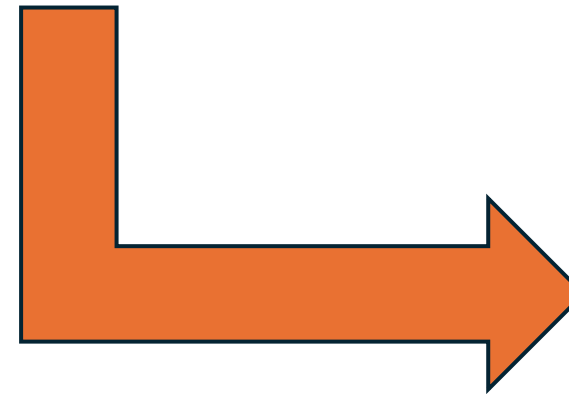
市職員による活動後の評価

これらを一括で管理・運営するための  
ポータルサイトの開設

# すずかていあ★ サイトデザイン イメージ



PC版



## スマートフォン版



# 必要性

公的な情報との連携の容易さ

ボランティア主催者にとっての安心感と気軽さ

ボランティア参加者にとっての安心感

行政側の業務負担軽減



# 公的な情報 との連携の 容易さ

## 現状の公民館の利用方法

公民館へ電話による空きの確認+紙による申請

- 公民館が空いている時間のみしか確認できない



## すずかていあ★経由での利用

貸し出し状況をリアルタイムで確認可能+電子による申請

- 平日は忙しい社会人・大学生もボランティア等の活動を開催でき、ペーパーレス化の推進

## 公的な情報 との連携の 容易さ

NPO法人その他民間団体は公民館の貸し出し状況などの公的な情報を容易に入手し、公開できない

- ボランティア活動の立上げ支援は向かない

公民館の貸し出し、空き家バンクなど市が有している情報を市自ら公開するのは、その他団体と比して容易である

- ボランティア活動の立上げ支援も可能

ボランティア  
主催者にとつての  
安心感と気軽さ

## 現状

- 施設の利用申請
- ボランティア活動自体の準備  
（人材募集・参加者との連絡等）
- ボランティア活動の広報  
をバラバラに準備しなければならない

特に広報は有名な団体と無名な団体とで  
差が生まれやすく、新規参入を妨げている

ボランティア  
主催者にとつての  
安心感と気軽さ

## すずかていあ★

- 利用申請、準備、広報をPC一つで一括管理
- 団体の知名度の有無を問わず公平な広報が可能



ボランティア  
参加者に  
ための  
安心感と信頼性

行政が運営しているという  
安心感

鈴鹿市がすでに持っている  
広報手段  
(ex. 広報誌・HP・SNS)の連携

# 行政側の 業務負担 軽減



すずかていあ★経由で電子による申請

市職員を介さないボランティア団体と  
参加者のマッチング



職員のシステム入力の手間削減



誤入力の防止行政のDX化  
ペーパーレス化  
職員の業務負担軽減



## 先行事例

KYO DO ! FUKUOKA  
(福岡県福岡市)

ボラスルン(群馬  
県)

# KYO DO ! FUKUOKA (福岡県福岡市)

## 概要

- ボランティア体験プログラムを検索でき興味を持ったプログラムの応募ができるサイト

## 強み

- インターネットから検索、応募でき誰でも気軽にボランティアに参加できる
- ボランティア活動のはじめの一步を踏み出しやすい



# ボラスルン (群馬県)

## 概要

- ボランティアをしたい人と募集したい団体をつなぐマッチングサイト

## 強み

- 写真や参加者のレポートといったレビュー機能
- 参加者の顔の見える化で新規参入のハードルの低下
- 大学のボランティアセンターとの連携
- 短時間の活動を推進し、気軽な参加を促す

# 広報政策

広報誌への掲載

市HPやLINEなどによる  
定期的な宣伝

高校などの教育機関との  
連携・協力依頼

# まとめ

## すずかていあ★

DX化  
ペーパーレス化  
の推進

周知のしやすさと  
手軽さ

行政・主催者の  
負担を減らし  
業務の効率化

## 広報政策

継続的に様々な媒体  
で普及させる

政策にインセンティブ  
をつけて参加するメ  
リットを周知

学校など教育機関へ  
協力を依頼し  
若い世代に地域参加  
の興味を持ってもらう

# まとめ

官民が連携し  
持続可能な  
ボランティア活動の  
実施体制の  
構築



市・ボランティア団体  
・住民のいずれかに  
負担が偏らない環境  
の構築



地域コミュニティの持続的な発展

A decorative graphic on the left side of the slide. It features a large orange semi-circle at the top, a solid blue circle below it, and a dashed blue arc above the blue circle.

ご清聴  
ありがとうございました